

令和2年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 3 年 5 月 25 日 作成

事務事業名	森林整備事業	外部評価の状況	事務事業No.	412 - 29
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	農林振興課	農林振興係	主任	檜木 啓文	課長	村上 光
施策体系	総合計画	政策	4	地域経済		
		施策	1	農林業の振興		
		基本事業	2	農地や森林の多面的機能の維持		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律 森林経営管理法					
事業開始年度	令和元年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	森林整備や木材の利用促進、普及啓発等を行うことを目的に創設された森林環境譲与税を活用し、市内の放置竹林の整備を行う。森林経営管理法に基づく適切な森林の経営管理を促し、森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、飯塚市が経営管理の委託を受け適切な管理をするための事前準備として、未整備森林の所有者への意向調査を実施する。					
対象	働きかける相手・もの	未整備森林所有者				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	放置竹林の整備 森林所有者に対し森林経営意向の確認				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	森林経営管理制度に基づく森林の適切な管理				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
森林所有者への意向調査	件	森林調査アンケート送付件数	500	1,000	1,000
竹林整備業務委託件数	件	業務委託件数	-	1	1

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
森林所有者の意向調査票回答件数	件	送付件数	目標値	500	1000	1000
	方向性	達成目標年度	実績	304	512	
	維持	毎年度	達成率	60.80%	51.20%	
竹林整備面積	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
	ha	見込面積	目標値		0.6	1.5
	方向性	達成目標年度	実績		0.34	
説明	増加	毎年度	達成率	#DIV/0!	56.67%	
	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
	方向性	達成目標年度	実績			
説明			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 2 林業費	目 2 林業振興費			
	大 2 森林整備事業費	中 1 森林整備事業費【義務】	他 - 事業				
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)	
	正職員	正職員	0.16 人 1,280	0.21 人 1,655	なし	0.27 人 2,128	
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	任期付職員(CW・水質)	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用フル	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用短	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	嘱託職員	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	臨時職員	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	人件費計(A)			1,280		1,655	
事業費	直接事業費(B)		4,598	4,607			14,232
	総事業費(A+B)		5,878	6,262		16,360	
直接事業費のうち			委託費	4,598	4,607	14,232	
の主な歳出内訳			-	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0		0	
	国・県支出金		0	0		0	
	市債		0	0		0	
	一般財源		1,280	1,655		2,128	
その他(森林整備基金)			4,598	4,607		14,232	

**6. 事務事業の事後評価★**

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	侵入竹によるスギ・ヒノキといった人工林の荒廃が進み、また、防災上の問題が生じるため、市の関与は妥当である。また、森林経営管理法により経営や管理が円滑に行われるよう市町村が意向調査を実施すると定められているため。
	目的の妥当性	妥当	侵入竹を伐採することで、人工林の荒廃を防ぎ、林業の振興・防災につながる。所有森林の整備状況等を事前に把握することで、今後の森林整備の基礎資料とするために必要である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	森林整備は国土保全といった公益的な意味を持つことから受益者は市民全体と考える。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	意向調査の準備に時間を要し、調査件数も多くこなすことができないため事業委託しているが、発注後所有者からの問い合わせが多くあっているため、委託内容を検討し効率化をはかる余地はある。
	負担割合の適正化	適正	森林整備は国土保全といった公益的な意味を持つことから、森林所有者に対して整備費の負担を求めている。
	手段の最適性	最適	国や県からの通達に基づき事業を進めている。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	意向調査については計画していた1,000件の調査を実施した。竹林整備は目標とする0.60haの整備を実施できなかった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	侵入竹を伐採することで林業の振興につながる。意向調査を行うことで今後の森林整備に向けて基礎資料の収集ができた。
	事業継続の有効性	ある	継続して、侵入竹や放置竹林を整備することで、森林の公益的機能が高まり、林業の振興及び防災につながる。また、令和3年度で市全域の意向調査を終了する予定としており、令和3年度までは意向調査を行う必要がある。

**7. 前年度評価時の計画と実績**

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	福岡県や周辺市町村と情報を共有し、適切な事業の進め方を精査する。
一次評価	①コスト・成果ともに拡充	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	作成した竹林分布図を基に放置竹林対策事業を実施する。また、意向調査については次年度も継続して実施する。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

福岡県から他市町村の事例など実施方法についての情報を共有し、アンケート発送方法などの修正を行い事業に取り入れることができた。

**8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★**

【成果】	意向調査が進み、森林所有者がこれから森林をどうしていくかの意見を収集することができた。
【課題】	意向調査の準備に時間を要し、調査件数も多くこなすことができないため事業委託しているが、発注後所有者からの問い合わせが多くあるため、委託内容を検討し効率化をはかる余地はある。

**9. 今後の事業の方向性と改善策**

成果の方向性	拡充 現状維持 縮小 休・廃止	コスト投入の方向性				評価区分	事務事業の方向性
		④	②	①			
		③	⑤		一次評価	①コスト・成果ともに拡充	
		⑥			二次評価	①コスト・成果ともに拡充	
		⑦					
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充		

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	市ホームページ等を活用し、制度の周知を実施する。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	森林整備基金を活用し、他の補助事業で整備できない森林や放置竹林の整備を進める。

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------